



とくしま 県議会だより

第109号【年4回発行】

令和3年5月16日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



若者の声を県議会へ！ 高校生との意見交換会を実施



県議会では、情熱あふれる若い皆さんの活力を未来の徳島づくりへとつなげるため、高校生と議員との意見交換会を実施しています。

令和3年1月25日、富岡東高等学校において生徒15名と議員3名で行った意見交換では、オンライン授業に向けた環境整備、若者目線での徳島の魅力発信や人口減少対策などについて意見が出され、活発な議論が交わされました。

この意見交換を契機として、参加した議員が、2月定例会の一般質問において、「高校生自身が徳島の未来を考え、具体的な事業内容を提案する機会を創出すべき」と提案し、知事から「高校生による政策創造コンテストを新設する」と表明されました。



手指消毒、換気、マスク着用等、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、実施しました。



1月臨時会の概要

令和3年1月29日、国の緊急事態宣言発令に伴う県民・事業者の不安を払拭し、感染拡大防止と社会経済活動維持との両立に向けた緊急対応を行うための補正予算を審議するため、臨時会が招集されました。

知事から、地方創生臨時交付金を最大限活用した本県独自の施策を盛り込み、緊急編成した1月補正予算（56億円）が提案され、原案どおり可決しました。



第106代副議長
元木章生（もとぎあきお）

三好第2選挙区（当選4回）
49歳

【略歴】総務委員長、監査委員、
関西広域連合議会議員
などを歴任



第95代議長
岩丸正史（いわたるまさふみ）

名西選挙区（当選4回）
68歳

【略歴】副議長、議会運営委員長、
関西広域連合議会議員
などを歴任

正副議長選挙が行われ、
議長に岩丸正史議員、
副議長に元木章生議員が選ばれました。



新正副議長紹介

会期 令和3年2月10日～3月10日 2月定例会の概要

開会日には、令和2年度1月補正予算及び2月補正予算と合わせた「15か月予算」として編成された令和3年度当初予算などが提案され、新型コロナ対策、人口減少対策、災害列島対策並びにデジタル社会及びグリーン社会の実現などの重要課題について、所信が述べられました。

さらに、閉会日には、飲食店の感染防止対策の推進や高病原性鳥インフルエンザへの対応のための補正予算などが追加提案されました。

代表・一般質問では、新ホールの整備方針及び新駅設置に向けた取り組み、ワクチン接種への対応や検査体制の強化等の新型コロナ対策、県の財政運営、若者のとくしま回帰促進、県土強靱化の推進、河川の治水対策や道路の整備促進、大規模災害への対策、コロナ禍における障がい者支援、男女共同参画の推進、水素社会の実現等の環境施策、県産品の販売促進等の農林水産施策などについて論議しました。

今定例会では、「徳島県主要農作物等種子条例」及び意見書3件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案92件を原案どおり可決・同意し、請願1件を採択しました。

主な審議の結果

●可決・同意された議案

○令和3年度当初予算

- ・一般会計（1件）／当初予算額は5,147億100万円で、前年度比101.8%
- ・特別会計（20件）
- ・企業会計（6件）

○令和3年度補正予算

- ・一般会計（1件）／補正予算額は1億7,000万円の増額で、補正後の予算は、5,148億7,100万円

○令和2年度補正予算

- ・一般会計（3件）／補正予算額は375億9,699万8千円の増額及び289億4,051万9千円の減額で、補正後の予算は、5,857億4,747万2千円
- ・特別会計（17件）
- ・企業会計（5件）

○条例の制定（2件）

- ・徳島県主要農作物等種子条例（議員提出）
- ・新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○条例の改正（23件）

- ・徳島県危機管理環境関係手数料条例の一部改正 など

○条例の廃止（3件）

○指定管理者の指定（1件）

○負担金案件（2件）

○契約案件（1件）

○人事案件（3件）

○その他（5件）

●可決された意見書（3件）

- ・地方たばこ税を分煙環境の整備に活用できる制度の創設を求める意見書
- ・尖閣諸島をはじめ我が国の領土・領海等における安全確保を求める意見書
- ・国立病院機構病院の機能強化を求める意見書

●採択された請願（1件）

- ・改正健康増進法の周知啓発・分煙環境整備等について

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要

検索



代表・一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

知事の答弁 関係部局の答弁

代表質問

県土強靱化のさらなる加速に向け公共事業予算の確保を

杉本直樹

(徳島県議会自由民主党)



問 5カ年で15兆円という国の国土強靱化対策を勝ち取ったことは大いに評価。県土強靱化の加速に向け、財政健全化と両立しつつ、安定的・持続的な公共事業予算を確保すべき。

答 5カ年対策を最大限活用し、県土強靱化をさらに加速するとともに、有利な地方債の活用や県債の新規発行抑制など、健全財政との両立を図る。

問 国道195号は住民の命と暮らしを守る重要な道路。バイパス整備等により、利便性と安全性が飛躍的に向上したが、今後、白瀬トンネル(仮称)の整備をどう進めるのか。

答 現道を大きくショートカットするバイパスを計画。現在、最適なルートを検討しており、白瀬トンネル(仮称)の令和6年度着工を目指す。

問 新ホール整備では、ぬくもりのある県産材や暖かみ

のあるLED照明などの素材を積極的に活用し、徳島ならではの特色を持った施設に。

答 徳島が誇る県産材やLED等の活用は、県内産業への経済効果をはじめ、徳島ならではのホールとするために必要不可欠なものであり、設計段階から十分に配慮する。

コロナ禍において巨大災害全般を捉えたさらなる対策を

西沢貴朗

(徳島県議会自由民主党)



問 コロナ禍の中、南海トラフ巨大地震などが発生したときの対処として、避難場所での3密対策だけでなく、巨大災害全般を捉えた、しっかりとした対策を取るべき。

答 災害ボランティアへの活動支援や、自然エネルギーの活用による持続可能な地域づくり等を推進し、コロナ禍の災害対応力の強化を図る。

問 隣接する高知県東洋町と海部郡の両地区を防災面からも同じ圏域として、甲浦港を利用したフェリー等による孤立化対策など、相互協力体制を充実強化してはどうか。

答 両県の関係自治体による連携協議会を4月にも立ち上げ、南海トラフ巨大地震を共同で迎え撃つ体制を早急に構築する。

問 大規模災害時におけるし尿の処理は、地域の存続に関わる重大な問題。し尿処理の在り方について国への提言や全国知事会などで話し合いを。

答 緊急避難的対応を含めた様々な課題を抽出し、国や他の自治体と意見交換を行う。また令和3年度には、災害における最新の知見を踏まえ、災害廃棄物処理計画の見直しを行う。

県や国の財政運営への不安払拭のため、強いメッセージを

長池文武

(新しい県政を創る会)



問 新型コロナウイルス対策における多額の財政出動で、県民や国民は財政運営への影響を懸念している。不安を払拭するため、県知事として、全国知事会長として、強いメッセージを。

答 県財政の持続的な運営に創意工夫を凝らすとともに、47都道府県知事の英知を結集し、国と心を一つに国家財政健全化に全力を傾注する。

問 子どもたちの安心の拠点である子ども食堂の活動を県下で広め、持続可能なものとするため、保健所の規制の見直しも含めどう取り組むのか。

答 営業許可の対象外とする要件に福祉目的事業の追加を

検討。令和3年度には子ども居場所の立ち上げから運営までのポイントを整理したマニュアルの作成を目指す。

問 オリンピックを機に性の多様性について国民全体が再認識し、アップグレードすべき。LGBTをはじめとする性的マイノリティに関し、県民に向けた具体的な行動を。

答 県の申請書や証明書等での不必要な性別記載欄の廃止等により、性的マイノリティの方に配慮し、多様な性への偏見や差別をなくす契機とする。

地方発の水素社会実現に向け、さらなる取り組みの加速を

臼木春夫

(新風とくしま)



問 水素供給拠点の整備と燃料電池バス路線導入の進捗状況は。また、これらを活用し、本県水素施策を全国に発信し、水素社会の実現に向けたさらなる取り組みを加速すべき。

答 本年11月に固定式水素ステーションを開所し、燃料電池バスの路線運用を開始。水素インフラを活用し、グリーン社会の実現に全力で取り組む。

問 公共交通事業者にとり厳しい環境が続く中、県民に身近な移動手段である路線バスを守るため、アフターコロナを見据えた公共交通ネットワーク再構築にどう取り組むのか。

答 幹線バス路線の再編を加

速するため、JR線等との接続向上や乗り継ぎ拠点への乗り入れを推進するとともに、地域公共交通計画の策定に着手。

問 県民が待ち望む新型コロナウイルス感染症ワクチンについて、一日も早く接種できる体制整備が必要と考える。県として、どう取り組むのか。

答 ワクチン供給時に速やかな接種を可能とするための詰めの協議を加速。また、接種の意義や副反応等について速やかに情報発信し、安心して接種できる体制整備を行う。

一般質問

吉野川市における飯尾川の浸水被害の解消を

増富義明

(徳島県議会自由民主党)



問 飯尾川上流の吉野川市では、今なお浸水被害が発生している。被害解消に向けた治水対策の現状と今後の取り組みは。

答 樋門改築や加減堰撤去等により、浸水被害が大幅に減少。被害軽減対策として即効性が高く効果的な堆積土砂撤去や樹木伐採を、飯尾川本川や放水路において継続する。

問 徳島ヴォルティスのJ1復帰という絶好の機会を生かし、新たなにぎわいの創出と地域経済の活性化につなげていくため、どのように取り組むのか。

答 マルシェ等の開催や選手と小学生のオンライン交流会を実施。さらに、アウェイサポーター等を対象に、宿泊や周遊観光の促進に取り組む。

問 小学校における35人学級の実現について、少人数学級の達成と推進にとどまらず、GIGAスクール構想等も踏まえ、徳島の未来を担う子供たちの教育をさらに推進すべき。

答 一人一台端末による個別最適な学びや小学校専科指導の展開、特別支援教育の充実等を実施。実施に不可欠な質の高い教員の確保に努める。

コロナ禍における県産品の販路拡大に向けた販売戦略は

福山博史

(徳島県議会自由民主党)



問 本県の基幹産業である農業のさらなる振興のため、デジタル化への対応など、コロナ禍における県産品の販路拡大に向けた販売戦略について、今後どのように取り組むのか。

答 消費者ニーズに対応した産地づくりとともに、ECサイトやオンライン商談会など、多様な販売チャネルを活用し、国内外で販路開拓に取り組む。

問 園瀬川は、流れを阻害する樹木や堆積土砂、無堤地区がいまだに残っており、河道管理と堤防整備の両輪で治水対策を加速させるべき。今後どのように整備に取り組むのか。

答 河川水位を大きく低減させる樹木伐採・堆積土砂の撤去を全面展開、川西地区での築堤、新貝地区での堤体補強など堤防整備を加速させる。

問 生徒数が減少する中、子供たちの能力を最大限生かせる場の創出が大切。学校の働き方改革を踏まえた中学校の運動部活動の将来的な在り方は。

答 外部人材の活用を図るため部活動指導員の配置数の倍増を目指すとともに、令和3年度から学校等と連携し、休日の部活動の地域移行に向けた実践研究モデル事業に着手。

コロナ禍での聴覚障がい者のコミュニケーション支援を

梶原一哉

(公明党県議団)



問 新型コロナウイルスの感染拡大でマスク着用が定着し、聴覚障がい者は意思疎通が難しい。スマートフォン等での遠隔手話通訳など、コミュニケーションの円滑化を支援すべき。

答 広く日常生活のコミュニケーション支援につながるため、個人のスマートフォン等を活用した遠隔通訳の操作研修会を実施し、利用を促進する。

問 全国初の県立夜間中学校「しらすぎ中学校」が4月に開校する。多様な生徒のニーズに応えるため、特色ある教育の提供とともに、生徒目線に立った経済的支援を。

問 非対面・非接触で本人確認できるマイナンバーカードは、感染防止にも有効であり、取得を促進すべき。デジタル庁の幕開けを見据え、さらなる普及に向け、どう取り組むのか。

問 高校生の意見交換会で、高校生の徳島への熱い気持ちを感した。若者のとくしま帰の加速化へ向け、高校生による「徳島の未来を創るための政策提案の場」を創設すべき。

問 新型コロナウイルスが県内で確認されてから約1年が経過。これまでの対応を検証し、徳島版CDCにおいて保健所機能をさらに強化すべきだが、コロナ対策に今後どう取り組むのか。

問 知事部局の女性管理職登用割合は、県行動計画では令和5年4月に16%の目標だが、まずは部課長級職員の3割程度、女性を登用すべく目標数値と期日を決めて取り組むべき。

問 高校スポーツの競技力向上において有力選手の県外流出が課題である。有力選手の集中・強化を図るための高校の特色化など、少子化の加速を見据えた今後の強化策は。

問 県民の利便性向上や新たなにぎわい創出につながるJR牟岐線の新駅をできるだけ早く設置すべき。JR四国や徳島市との協議を含む現在の検討状況と今後の取り組みは。

問 国による流域治水の考え方を受けて、昨年7月に策定を開始した「吉野川水系流域治水プロジェクト」により、今後どのように吉野川の治水対策を進めていくのか。

問 高齢者施設や病院への新型コロナウイルスの侵入を防止、早期に発見する取り組みが命を守る。新規入所、入院者の検査及び高齢者施設職員の定期検査を実施すべき。



浪越 一 (徳島県議会自由民主党)

高校スポーツの競技力向上に向け、今後の強化策は

答 販売事業者と連携した普及啓発と一体的なセールス、浄化槽の適正な維持管理につながる自主組合の設立等、民間活力による新たな浄化槽の普及管理手法をスタートさせた。

問 きれいな水環境の創出と県民の生活環境の向上に向け、合併処理浄化槽の普及や浄化槽の維持管理に今後どう取り組むのか。

答 文化や伝統を取り入れた魅力ある学びの提供、世代を超えた学校間交流を行う。体験活動の費用を低く抑える等、経済的支援に創意工夫を凝らす。



岡 佑樹 (徳島県議会自由民主党)

JR牟岐線への新駅設置に向けた今後の取り組みは

答 ワンストップでの相談機能と、オンラインも活用した講座実施での人材育成機能等により、男女共同参画立県とくしまの飛躍を目指す。

問 女性活躍は着実に進展しているが、なお一層の取り組みが必要。男女共同参画社会の実現に向け、再整備中の男女共同参画交流センターを活用してどう取り組むのか。

答 キャラバン隊を組織し、県内全域で手続きを支援。また、国・市町村とともに、カードの活用拡大による利便性の向上にしっかりと取り組む。



山西 国朗 (徳島県議会自由民主党)

吉野川流域の治水対策をどのように進めるのか

答 畜産副産物等の再資源化の観点から、公益性等が高く、県民の公衆衛生などの保全に有効な事業と認識。今後とも、事業の適正な執行に努める。

問 他の自治体ではほとんど事例がない補助金を徳島化製事業協業組合に長年支出しているのはなぜか。また、畜産副産物等だけを補助対象としている理由は。

答 高校生の自由闊達なアイデアを生かすため、コンテスト形式で率直な政策創造を提案できる「徳島未来創造アップデートコンテスト」を創設する。



扶川 敦 (護民官)

新規入所、入院者の検査及び高齢者施設職員の定期検査を

答 ER棟整備において、感染症外来を設置。さらにDMA T活動拠点等の災害対応機能、高度研修施設としての人材育成機能、遠隔医療を支援する地域医療支援機能等を持たせる。

問 県内医療の中核を担う県立中央病院は、県民の生命、安全、安心を守るため、さらなる医療機能の充実が必要不可欠。今後どう取り組むのか。

答 令和3年度に、徳島版CDCを構築し、保健師・薬剤師や、即戦力となる必要人員を確保。これまでの対策を検証し、より実効性のある対策を行う。

問 JR牟岐線への新駅設置について、まずは需要調査を先行させ、十分な需要が見込めないと判断すれば、設置を見送るべき。

答 新駅設置は、新ホール周辺への利便性が向上するものであり、全世代が使いやすい駅前機能、県民アンケートによる利用者予測を踏まえた事業効果分析など検討を進める。

答 16%の目標に対し、令和2年4月では、12・9%に達する。今後とも、やる気と能力あふれる女性職員の登用にに向けた取り組みをさらに加速する。

用語解説

※1 【燃料電池バス】

車両に積載された水素と大気中の酸素を化学反応させ、発電した電気でもーターを駆動させて走行するバス。走行時には水しか出さないクリーンな車両で、災害時には、発電設備として避難所等の非常用電源としても活用できる。

※2 【グリーン社会】

水素や蓄電池等をはじめとする技術革新や脱炭素に資する投資などの施策を総動員して「経済と環境の好循環」を生み出し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする社会。

※3 【小学校専科指導】

小学校において、学級担任以外が教科を担当し、専門的指導を行うこと。

※4 【ECサイト】

ECは「Electronic Commerce（電子商取引）」の略。インターネット上で商品やサービスを販売するウェブサイトのこと。

※5 【流域治水】

河川管理者による治水に加え、国・都道府県・市町村・住民等あらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策のこと。

※6 【徳島版CDC】

CDCは、米国疾病予防管理センター（Centers for Disease Control and Prevention）の略称。本県が目指す「感染症対策」と「疾病予防対策」を一元的に担う組織体制を「徳島版CDC」として位置付け。

※7 【ER棟】

ERは、「Emergency Room」の略であり、救命救急棟のこと。

※8 【DMAT】

「Disaster Medical Assistance Team」の略。災害の急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム。主な活動は広域医療搬送、病院支援、域内搬送、現場活動等。

議会トピックス

- 四国大学との包括連携協定に基づく事業として、経営情報学部の学生を対象に、議員が講演を行いました（1月20日）。また、弓道部の学生とスポーツ振興議員連盟の議員が、「コロナ禍における部活動について」をテーマに意見交換を行いました（2月4日）。



- 議決対象とした「『未知への挑戦』とくしま行動計画」（変更案）について、全議員勉強会を開催しました（2月10日）。
- 大規模災害発生時においても、県議会が議事・議決機関等としての機能を維持し、迅速かつ的確な対応ができるよう、徳島県議会業務継続計画（議会BCP）を策定しました。

議員連盟の活動

- 北朝鮮日本人拉致問題早期解決促進議員連盟が、拉致問題啓発映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映会に出席しました（1月20日）。
- 教育を考える議員連盟が、徳島県GIGAスクール構想について勉強会を開催しました（2月1日）。
- 医療・福祉関係議員連盟が、認知症の方への関わり方について、勉強会を開催しました（3月10日）。

常任委員会

2月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

交通マナーアップに向けた取り組み、県行政におけるデジタル社会の実現、新たな総合戦略による施策展開、新ホール整備の今後の進め方、コロナ禍における若者の心のケアなどについて質疑及び提言がありました。

●文教厚生委員会

GIGAスクール構想に関し、準備状況やICTの活用事例共有による教員の指導力向上等、また、学校における働き方改革、新型コロナワクチン接種体制の整備、障がい者施策基本計画などについて質疑及び提言がありました。

●経済委員会

労働相談の状況、高病原性鳥インフルエンザへの対応、ターンテーブルの取り組み、「もっと！とくしま応援割」の利用促進、円滑な事業承継への支援、5Gを活用した事業展開などについて質疑及び提言がありました。

●県土整備委員会

小水力発電の普及促進、「新しい生活様式」実装推進事業の積極的な周知・広報、避難所における感染症対策、県土強靱化に向けた公共事業予算の執行、JR牟岐線における新駅設置などについて質疑及び提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

JR牟岐線における新駅設置に関し、駅前機能や列車のスムーズな運行の検討、関係部局間の連携等、また、観光施策に関し、延べ宿泊者数の全国順位、来年度の取り組みなどについて質疑及び提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に関し、ワクチンの接種体制や事業者への支援等、また、地震発生時の火災対策、学校防災体制の強化、消防広域化の推進、災害時要配慮者支援などについて質疑及び提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

再生可能エネルギーの推進、水素ステーションの整備状況、一般廃棄物の最終処分場の現状、不法投棄対策、とくしま浄化槽連絡協議会の状況、若者を狙った詐欺被害防止対策などについて質疑及び提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

青少年センターの状況、マリッサとくしまの実績等、コロナ禍における出生数及び妊娠の状況、高齢者のフレイル予防の推進やデジタルデバインド（情報格差）の解消への取り組みなどについて質疑及び提言がありました。

県議会表彰

スポーツや学芸部門の全国大会や世界大会で最優秀の成績を収めた個人14名と1団体の児童、生徒及び学生の皆さんに対し、県議会表彰を行いました。

表彰者一覧及び寺井議長のお祝いメッセージはこちら



議員提案による政策条例を制定しました

徳島県主要農作物等種子条例

本県の農業の基幹品目である稲、麦、大豆といった、いわゆる主要農作物に加え、本県固有の傾斜地農業や伝統産業である藍作にとって、種子は貴重な資源であり、その生産の根幹となるものです。

この条例は、これらの種子の生産について基本理念を定め、県の責務を明らかにするとともに、県が実施する施策について必要な事項を定めることにより、主要農作物等の優良な種子の安定的な確保を図り、本県における主要農作物等に係る農業の振興及びその関連産業の発展並びに文化の継承に寄与することを目的としています。



寺井議長（中央左）に検討結果報告書を提出する政策条例検討会議の元木座長（中央右）



関西広域連合議会議員の選出

次の3名が選出されました。



井川龍二議員



山西国朗議員



浪越憲一議員

Table showing the composition of various committees: 監査委員, 特別委員会, 議会運営委員会, 常任委員会, and 徳島県議会の構成. Lists members and their roles across different categories like 総務, 経済, 文教厚生, etc.

県議会の見学者等

- 阿波市立林小学校
●那賀町立相生中学校

申込方法等は
こちら



議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」の自粛をお願いする場合がございますので、県議会ホームページでご確認ください。

- 6月16日 常任委員会
6月17,18日..... 特別委員会
6月21日 本会議（開会）
6月24日 本会議（代表質問）
6月25日 本会議（一般質問）
6月29～7月2日 常任委員会
7月5,6日 特別委員会
7月9日..... 本会議（閉会）

令和3年6月
定例会の日程

この広報紙は、新聞折り込みによりお届けしています。また、市役所、町村役場、総合県民局、県合同庁舎、県庁ふれあいセンター及び県議会事務局でもお渡ししています。

各委員会の構成と各党派の役員構成が決まりました。

(令和三年三月十一日現在)

徳島県議会各党派名簿

Table listing party members: 護民官, 公明党 県議団, 日本共産党, 新しい県政を創る会, 新風とくしま, 徳島県議会自由民主党, 会派名, 正副会長, 幹事長等, 議員, 人員.